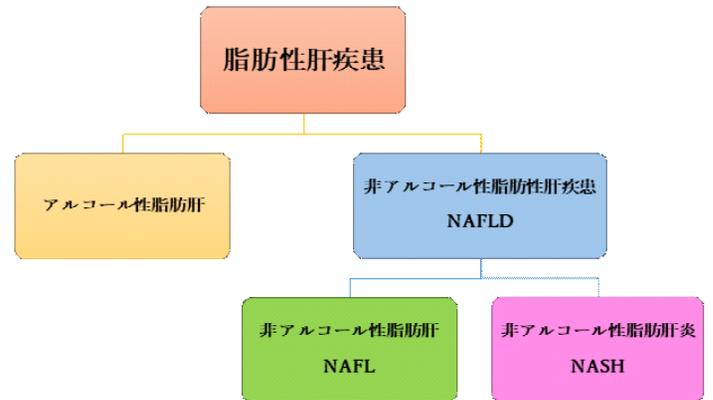


(表面より) 運動療法を改善し、肥満、糖尿病、脂質異常症、高血圧を是正することです。NAFLDの患者さんでも肥満のある方は、体重の約7%を減量すればそれだけで肝臓の状態はかなり改善すると言われています。そして食事療法や運動療法で十分でない患者さんには糖尿病、高脂血症、血圧のお薬を使用します。このように適切に治療することで肝硬変、心筋梗塞や脳梗塞などの心血管系の疾患を予防できると言われています。しかし食事療法や運動療法は一人で継続することがなかなか難しいのが現状です。脂肪肝についてお悩みでしたら一度ご相談ください。

『脂肪性肝疾患の分類』



薬剤科より 病棟薬剤管理業務について



マキノ病院では院外処方箋を発行しているため、ほとんどの外来患者様は院外の調剤薬局で薬をもらわれることが多く、「病院の薬剤師の仕事は何?」と疑問を持たれているかと思えます。マキノ病院の薬剤師は病棟や薬剤科内で入院患者様を対象とした業務を主に担当しております。一人の患者様ごとに医師や看護師、その他の医療スタッフが治療やケアを行うことを「チーム医療」といいます。薬剤師もチーム医療を担う一員として、薬の専門性を生かし入院患者様に対して、最適な薬物療法を実施する手助けを行っています。

まず患者様が入院されますと、病院などで処方された薬はもちろんですが市販されている薬やサプリメントの有無やしつかり飲んでいるか、アレルギー、副作用などの確認をします。また、入院時に持参された薬(持参薬)の内容も調べます。最近では色々な事情により飲み薬が一包化されている場合が多く、その内容を調べて主治医に報告もします。そしてその持参薬が継続となった場合、いつまで持参されたか、飲み切った後の代わりの薬剤の準備なども行います。

新しいスタッフ紹介



作業療法士
高力 溪太



看護師
古谷 千波



看護師
辻村 恵子



理学療法士
滝野 祐太



准看護師
宮本 優真



看護師
和久野 友紀



理学療法士
北村 涼



看護師
武政 優紀

よろしくお願いします

臓や脈に作用する薬(強心剤や不整脈用剤)、治療の際に血中濃度の微妙な調整が必要な薬(抗てんかん薬)など安全管理が必要な薬(ハイリスク薬)においては、些細な変化が重要となつてきますので、服薬状況や副作用が出ていないかなどの注意するポイントをお知らせし、実際に確認し指導を行います。薬剤によっては血液中の薬物量を参考に、患者様ごとの適切な投与量を主治医に提案しています。

喘息患者様の吸入薬や糖尿病患者様のインスリンの自己注射薬の技をパンフレットや練習用キットなどを使用して説明をします。また病棟で、入院患者様の翌日分の内服薬を確認し看護業務の支援をしています。そして退院が決まれば、患者様本人や家族様に退院時に持って帰ってもらう薬の詳しい情報やお薬手帳に貼ってもらうシールを印刷し説明を行っています。

また患者様の急変等に対応できる

看護の日記念イベント
健康まつり開催中止のお知らせ

毎年、看護週間に合わせて開催しておりましたが、「健康まつり」につきまして、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の開催は中止とさせていただきます。

(薬剤科 美濃部 勝哉)

最後にりましたが、もしお薬の効果、飲み方や副作用など気になる事がありませんでしたら、近くの病院スタッフに御遠慮なくどんどんお問い合わせ下さい。薬剤師が質問にお答えさせていただきます。

小児予防接種の予定 (4月・5月)

	混合ワクチン・麻疹風疹混合・BCG・日本脳炎・ポリオヒブ・肺炎球菌・子宮頸がん・水痘・おたふくかぜ・ロタ				
	受付・接種時間：13時～ 16時～16時30分				
4月	6日(火)	9日(金)	16日(金)	20日(火)	23日(金)
5月	7日(金)	14日(金)	18日(火)	21日(金)	28日(金)

マキノ病院理念 マキノ病院は、患者様中心の医療と福祉を
実践し、患者様およびご家族の信頼と満足を得ることにより地域の
皆様に安心していただける環境の創造を目指します。

テーマ
『糖尿病』

健康教室のご案内

～当院では生活習慣病などを学びたい方のために『健康教室』を開催しています。～

開催についてのお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月・5月の開催は中止といたします。

場所：2階図書室

どなたでも自由にご参加できます。(入場無料)

※6月以降の開催は未定